

伊良部町漁協青年部の部会組織と活動

奥原 哲夫・長嶺 巖

1. 部会設置の目的

ここに伊良部町漁協青年部を紹介するにあたり、同青年部が取り入れている部会制とその活動状況を報告したい。まず、部会についてですが、図1に示すとおり、伊良部町漁協青年部には3つの部会がある。部会をつくった目的というかきっかけは、青年部としての活動がままならぬと

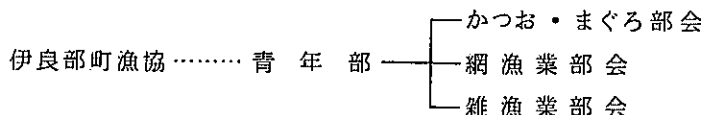


図1. 伊良部町漁協青年部組織

ころがあり、小グループの専門の部会に分けた方が、個人的にも活動に参加しやすいのではないかと思ったからです。この小グループ専門部会の利点として考えられることは、(1)青年部としての大集団に較べ、個人的に発言できる機会が多くなり、人間的なつながりがより緊密になる。(2)毎日の漁業活動が共通しており、お互いに心が通じあえるので、話題も自然と一致して気安く話し合える。(3)同じ条件であるため、休みの日が皆同時になり、集まりがもちやすい。(4)大集団に較べ個人の行動や態度が影響しやすく、したがって個々の構成員の果たす役割が増大する。などが考えられる。

この部会の結成によって、伊良部町漁協青年部は、青年部としての組織活動を維持しているといっても過言ではあるまい。

2. 活動状況と今後の計画

部会の設置目的はこれまで述べてきたところでありますが、各部会の活動状況を報告するまえに、各部会に共通する青年部としての活動状況から報告したい。(1)海人祭(ハーリー)の開催、(2)子供の日の家族参加ピクニック、(3)漁民運動会の開催、(4)漁民ソフトボール大会の開催、(5)宮古支庁主催の後継者対策事業への参加、(6)他漁協青年部との交流などです。これ等の行事は青年部として毎年開催しています。そのため青年部内はもちろん、他組合員との交流も図られ、日頃の組合内部のわだかまりを取り除く、大変重要な交流行事の役目を果たしています。

次に各部会の活動状況ですが、上記に述べた行事以外に、まずかつお・まぐろ部会ですが、(1)魚群探索の効率化を図るための水温測定。(2)価格安定と信用維持のためのまぐろの鮮度保持対策。(3)販路拡大による魚価安定策のための流通改善。(4)かつお・まぐろの本土出荷に伴う輸送方法の改善。(5)地元によるかつお・まぐろ鮮魚の消費拡大ピーアール。これなどが現在も続けられているかつお・まぐろ部会の活動状況です。今後の計画としてはこれ等以外に、(1)まぐ

ろ延縄（ナイロン）漁具漁法の導入、(2)かつお・まぐろ漁業の活餌対策、(3)小型かつお・まぐろのみそ味・しょう油味のナマリパック加工開発を予定しています。

次に網漁業部会の活動状況についてですが、(1)追込網について潜水技術対策学習会、(2)タカサゴの産卵時期の調査把握、(3)追込網漁業技術交流会、などがもたれています。現在追込網漁業は後継者の不足が論議されており、技術の継承と共に、青年部としての取り組みが期待される時期にあるものと思っている。そして、大・中型定置網の導入もからめて、網漁業の先進地視察などを実施していきたい。

雑漁業部会の活動についてですが、(1)潜水器漁業者による潜水技術向上学習会、(2)ウニ礁設置に伴うウニ資源管理対策学習会、そしてこれらを含めた(3)ミナミクロダイ及びクルマエビ放流に伴う資源管理型漁業の推進学習会、などがおこなわれています。今後はアイゴ、シマアジ及びハマフエフキの養殖を手がけてみたいと思っています。